

ARCHITECTURE

ビーコンプラザの設計者である磯崎新氏と4月24日開館の大分県立美術館OPAMの設計者である坂茂氏。磯崎の言葉を借りれば「互いにアウトロー」な2人の建築家が語る【建築】の話。磯崎新事務所にも在籍経験もあり、今回の県立美術館設計で大分に縁ができた坂と、大分出身で日本を代表する世界的建築家の磯崎が【建築】について語ります。

磯崎 新(建築家):1931年大分生まれ。1963年磯崎新アトリエ設立。代表作に、大分県立図書館(現アートプラザ)(1966)、群馬県立近代美術館(1974)、ロサンゼルス現代美術館(1986)、パラウ・サン・ジョルディ(1992年夏季バルセロナオリンピックスタジアム)、パラスポーツ・オリンピック(2006年トリノ冬季オリンピックアイスホッケースタジアム)、深洲文化センター(2007)、北京中央美術学院美術館(2008)、カタール国立コンベンションセンター(2011)、上海交響楽団コンサートホール(2014)の他、現在進行中の中国鄭東新区都市計画など、国際的に建築設計や都市計画を手掛ける。



ISOZAKI ARATA

磯崎 新 × 坂 茂 対談

ファシリテーター：
三宅 理一

「新しいまち創りと【建築】の話をしよう」

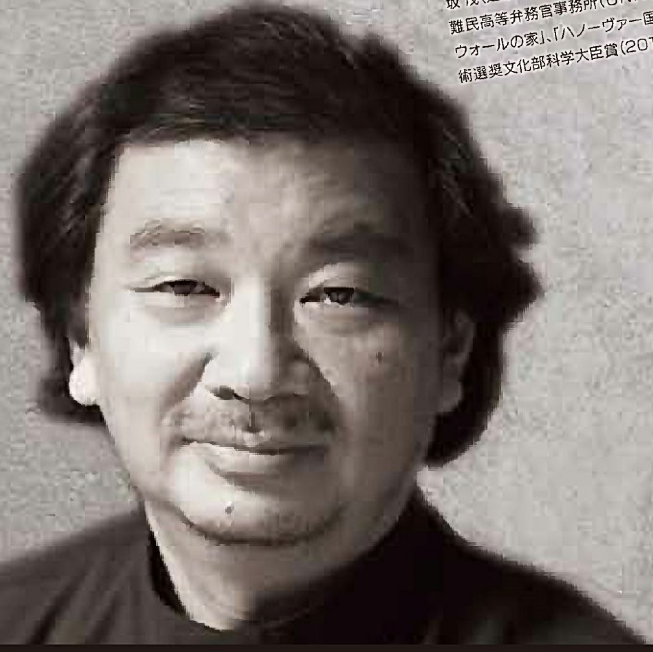
日時: 2015. 3/8 日 [開場12:30] 13:00~14:30

場所: 別府ビーコンプラザ・レセプションホール

入場料: 一般1,000円 / 学生[高校生以下]500円 *びびメンバーの方は097-547-8360(デンク・パウゼ)にお問い合わせください

BAN SHIGERU

坂 茂(建築家):1957年東京生まれ。84年クーパー・ユニオン建築学部を卒業。82年、磯崎新アトリエに勤務。85年、坂茂建築設計を設立。95年から国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)コンサルタント、同時に災害支援活動団体 ボランティア・アーキテクト・ネットワーク(VAN)設立。主な作品に「カーテンウォールの家」、「ハノーヴァー国際博覧会日本館」、「ボンビドー・センター・メス」、「大分県立美術館」などがある。これまでに、オーギュスト・ペレ賞(2011)、芸術選奨文化部科学大臣賞(2012)、フランス芸術文化勲章コマンドゥール(2014)ブリツカー建築賞(2014)などの賞を受賞。



MIYAKE RIICHI

主催: 別府ビーコンプラザ 共催: 大分県芸術文化友の会 びび / 別府市コンベンション振興協議会
後援: 大分県 / 大分合同新聞 / OBS大分放送 / TOSテレビ大分 / OAB大分朝日放送 / エフエム大分

ビーコンプラザ創立20周年記念事業

チケットの取り扱い: ビーコンプラザ / トキハ会館 / トキハ別府店 / アートプラザ
問い合わせ先: ビーコンプラザ 〒874-0828 大分県別府市山の手町 12-1 tel.0977-26-7111